

各拠点病院が重点的に取り組んでいるがん対策(2025年度)

1. がんの予防

①生活習慣(喫煙) ②生活習慣(飲酒) ③感染症対策(HPV) ④感染症対策(肝炎) ⑤感染症対策(HTLV-1)

2024年度:特別な実績なし

2025年度:大腸がん激減プロジェクトで何らかの方針が示された場合はそれに従う

2. がん検診

①科学的根拠に基づくがん検診の実施について ②がん検診の精度管理等について ③受診率対策について

2024年度:特別な実績なし

①大腸がん激減プロジェクトで何らかの方針が示された場合はそれに従う

当院からも委員を選出しプロジェクトに参加している。

3. がん医療提供体制

①医療提供全般 ②病理診断 ③がんゲノム医療 ④手術療法 ⑤放射線療法 ⑥薬物療法 ⑦チーム医療の推進 ⑧医療実装

2024年度

①がん遺伝子パネル検査の院外からの受け入れを開始した。

②ロボット手術を導入した。

③放射線治療機器更新のために放射線治療休止期間に周辺施設との連携を図り放射線治療が適切な施設で滞りなく行えるように支援した。

④遺伝診療部を開設した。遺伝カウンセラーを雇用した。

⑤薬物療法専門医3人体制で県内全域から化学療法の適応となる患者の紹介を受けた。

2025年度

①造血器腫瘍の遺伝子パネル検査の準備を行う。

②放射線治療機器の更新が終了し、小線源治療も含め放射線治療を再開する。

4. 緩和・支持療法

①緩和ケア ②在宅療法 ③リハビリテーション ④支持療法 ⑤妊孕性温存療法

2024年度

①がんリハビリテーション研修に理学療法士を派遣し、県内のがんリハビリテーションの質の向上に努めた。

②グループ指定の八重山病院と宮古病院と共催で1回ずつ年2回の緩和ケア研修会を開催した。

2025年

①irAE対策チームを立ち上げる

②グループ指定の八重山病院と宮古病院と共催で1回ずつ年2回の緩和ケア研修会を開催する。

5. 個別のがん対策

①希少がん ②難治性がん ③小児がん ④AYA世代のがん ⑤高齢者のがん ⑥離島・へき地

2024年度

①①希少がんや難治がん患者の診療において、国立がん研究センターの希少がんセンター等へのセカンドオピニオンやがん遺伝子パネル検査を有効に活用した。

②石垣・宮古地区のグループ指定のがん診療病院との連携を図り、北部地区の県立北部病院を加えた3病院に専門医をした。各がん診療病院での腫瘍内科の外来を活用しがん遺伝子パネル検査において家族の渡航費などの経済的な負担を軽減する運用を開始した。

2025年度

①希少がんや難治性がんの紹介患者を増やす

6. 共生

①相談支援 ②情報提供 ③デジタル化 ④就労支援(医療機関側) ⑤就労支援(職場側) ⑥アピアランスケア ⑦自殺対策 ⑧がん患者の疎外感の解消やがんに対する偏見の払拭

2024年

①がん相談支援室の人員を増やし、依頼方法を簡略化する事でより多くのがん患者にがん相談支援室が関わる体制を構築した。

②アピアランス支援事業の周知の推進を行った。

2025年度

①がんと診断された患者が必ず1度はがん相談支援センターを訪問する体制を整える。

②アピアランス支援事業の利用者を増やす。

7. 基盤

①研究の推進 ②人材育成の強化 ③がん教育及びがんに関する知識の普及啓発 ④がん登録の利活用の推進 ⑤患者・市民参画の推進

2024年度

①コメディカルの専門資格取得を奨励した。

②医療従事者を対象としたがん診療についての講演会を増やした。

2025年度

①琉球大学と連携し臨床腫瘍学会専門医を育成する体制を整える。

